

**「健康医療分野における
広域的地域間相互支援事業」について**

1. 連携の枠組み

(1) 協議会の構成員の紹介

■ 健康医療分野における広域的地域間相互支援推進協議会

- 香川県
- 香川県三木町
- 岩手県遠野市
- 福島県檜枝岐村
- 香川県医師会
- 福島県立医科大学
- 岩手県立大船渡病院
- 香川大学
- 香川大学医学部附属病院
- 香川大学危機管理研究センター
- 東北大学東北メディカルメ
ガバンク機構
- 高知工科大学情報システム
センター
- 株式会社ミトラ
- NTT東日本福島支店
- NECネットイノベーション
株式会社
- ネットワンシステムズ株式
会社

(2) 連携の経緯

■ 連携に至った経緯

◆ 香川県 三木町

- ✓ 近い将来、南海トラフ巨大地震が発生する可能性があり、その対応策の検討を必要としている。
- ✓ 医療情報ネットワークである、かがわ遠隔医療情報ネットワーク(K-MIX)を構築し、全国に先駆けて医療情報の共有化を実施している。

◆ 岩手県 遠野市

- ✓ 2011年3月の東日本大震災時の際に岩手県沿岸地域の救援および復興拠点として対応。また、電子母子手帳「いーはとーぶ」のデータのデジタル化により情報損失を防ぐことができた。
- ✓ 遠隔健康相談の実証実験や周産期遠隔医療の実施など最新の医療IT技術を導入し取り組んでいる。

◆ 福島県 桧枝岐村

- ✓ 2011年7月の新潟・福島豪雨により、一時孤立状態を経験。ICTの活用を積極的に取り入れ防災対策等に取り組んでいる。
- ✓ 遠隔健康相談の実証実験や周産期遠隔医療の実施など最新の医療IT技術を導入し取り組んでいる。

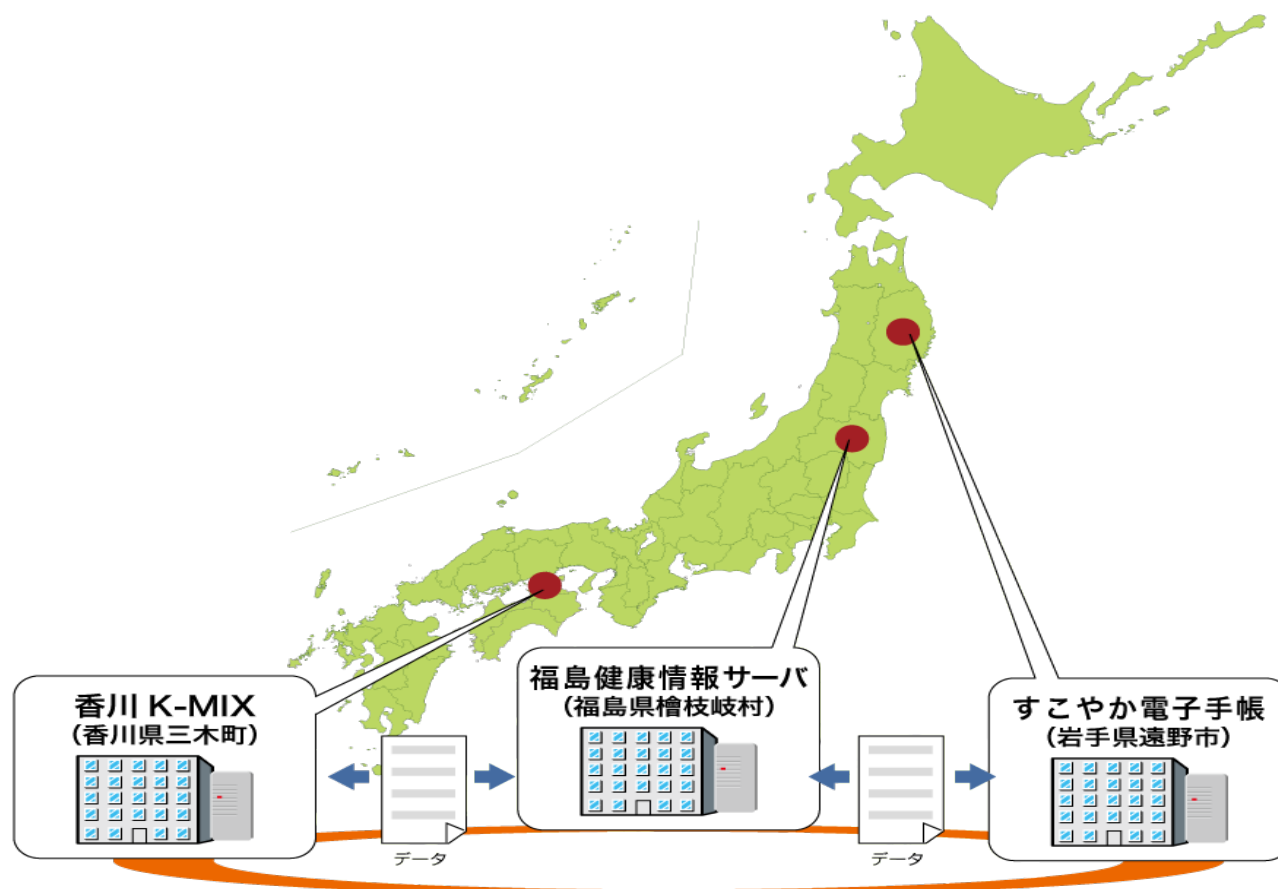


大規模災害時のノウハウの共有、支援体制の確立
健康・医療の取り組みについてのノウハウ共有

(3) 連携による活動の目的

■ 地域防災力向上のための具体的目的

- ・BCPに基づく被災時の早急な医療、健康データの復旧
- ・バックアップデータの存在による被災者、医療関係者の安心感向上



ネットワークでシステム間を接続し情報の相互バックアップを実施

(3) 連携による活動の目的

■ 地域活性化のための具体的目的

- ・連携自治体間どうしでの医療人材交流と情報交換を図り、相互の健康施策に取り入れる。
 - ▼(香川県)香川県の在宅医療の仕組みづくり
 - ▼(香川県)小児糖尿病への取り組み
 - ▼(檜枝岐村)病診連携の円滑化への取り組み

2. 活動報告

(1) 平成25年度の取組み概要

- 相互バックアップシステム構築

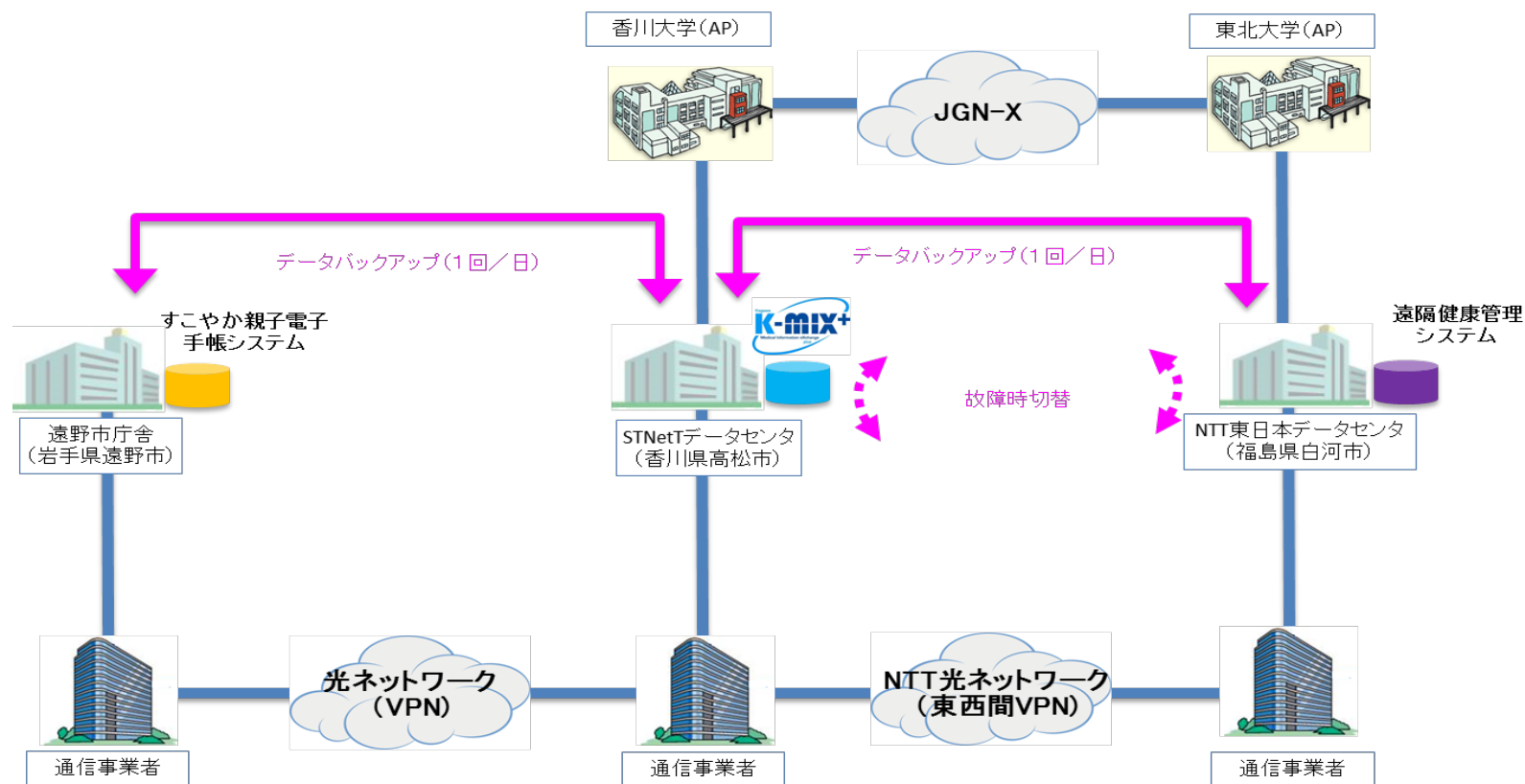
テキストデータの相互バックアップを実施

- バックアップ用回線の二重化

JNG-Xと通信事業者光ネットワークのVPNで二重化し、信頼性の向上及びセキュリティを確保

- 参加自治体の医療／健康関連の取り組みの紹介

協議会等で3自治体から医療／健康関連の取り組みを発表して貰い、その目的、特徴等を理解



(2) 平成26年度の取組み内容と成果

■ 平成26年度事業の活動内容

● 協議会開催

平成26年10月10日 第1回協議会開催(三木町)

◆香川県の健康・医療連携の取り組み紹介

平成27年 2月 3日 第2回協議会開催(福島市)

◆平成26年度活動報告と今後の取組方針の決定



(H26.10.10 第1回協議会)



(H26.10.10 第1回協議会)



(H27.2.3 第2回協議会)

(2) 平成26年度の取組み内容と成果

● 協議会メンバーによる情報交換及び現地視察

平成26年10月 9日

香川県三木町福島県檜枝岐村保健師意見交換

香川大学医学部附属病院糖尿病センター見学

香川県訪問介護補助システム見学

遠隔地間看護システム(オリーブナース)見学

平成26年10月10日

かがわ医療情報ネットワーク(K-MIX)見学



(H26.10.9 保健師意見交換)



(H26.10.9 糖尿病センター見学)



(H26.10.9 訪問介護補助システム見学)



(H26.10.9 オリーブナースシステム見学)



(H26.10.10 K-MIX見学)



(H26.10.9 香川県医師会訪問)

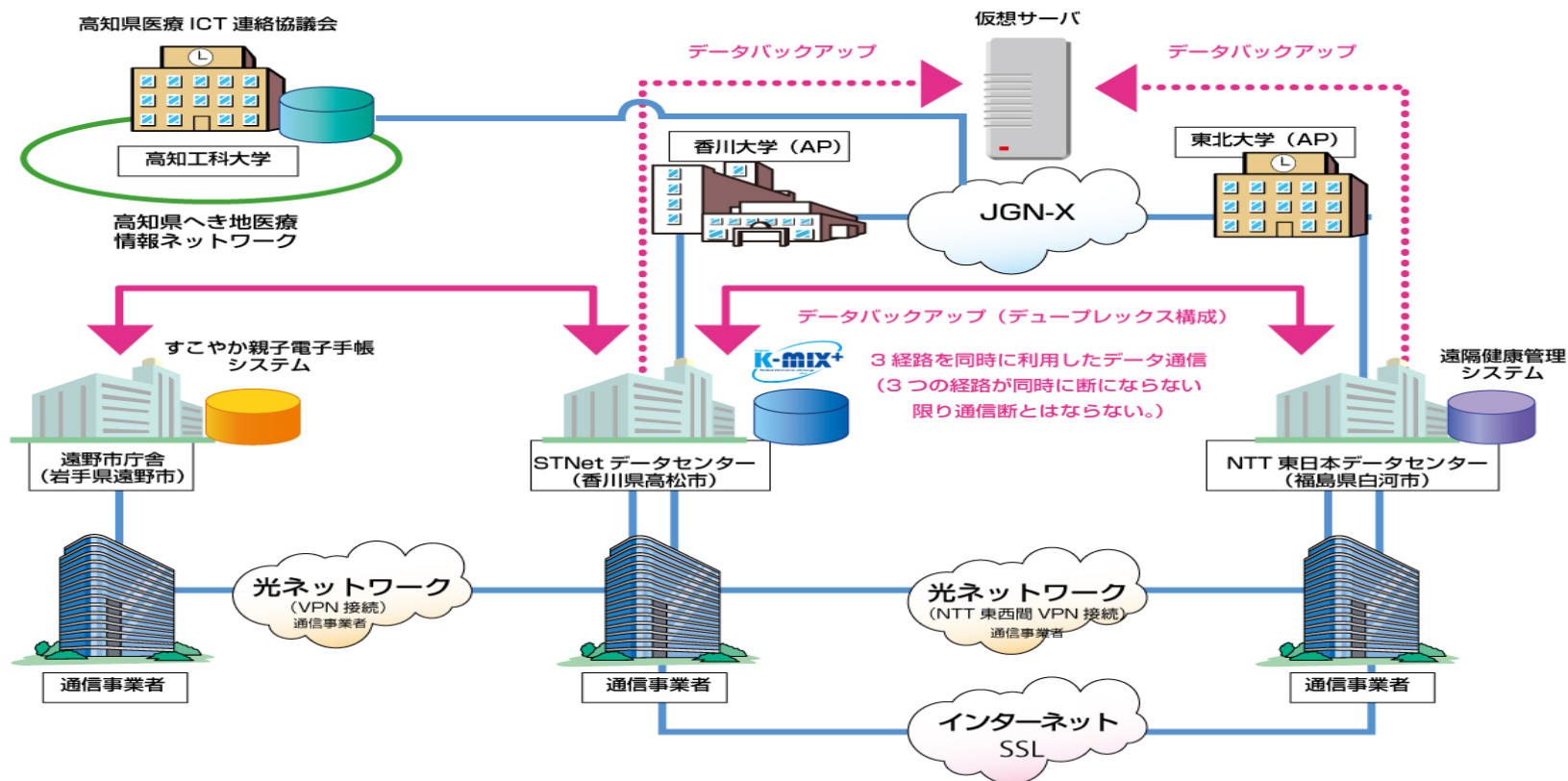
(2) 平成26年度の取組み内容と成果

● 相互バックアップシステム運用

平成25年度事業で確立した相互バックアップシステムを継続運用

● バックアップ機能強化

バックアップ回線の自動切替機能を追加し、バックアップの信頼性を向上。
それに伴う事業継続計画(BCP)の改訂と実施。(バックアップ先として追加した仮想サーバからのデータ復元方法を追加。災害時の確実なデータ復元を目指す。)

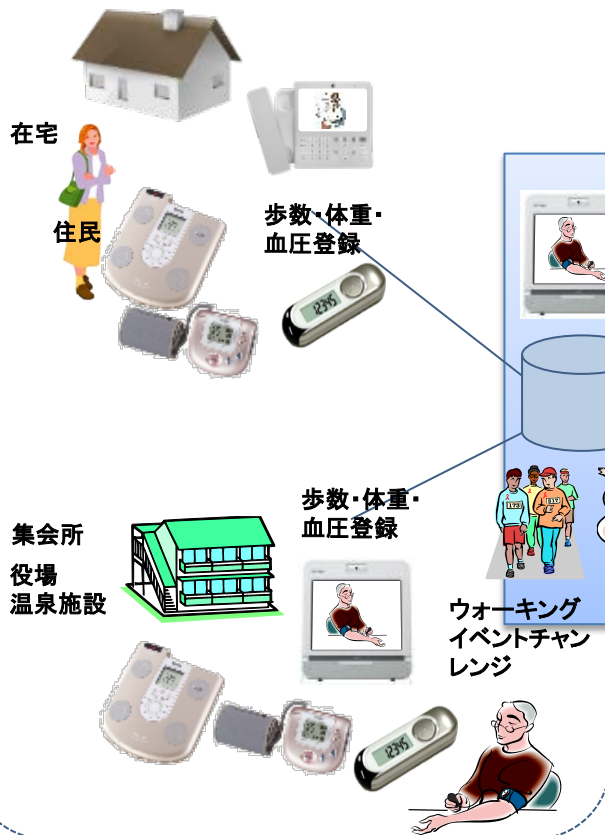


(3) 福島県檜枝岐村の取組みについて

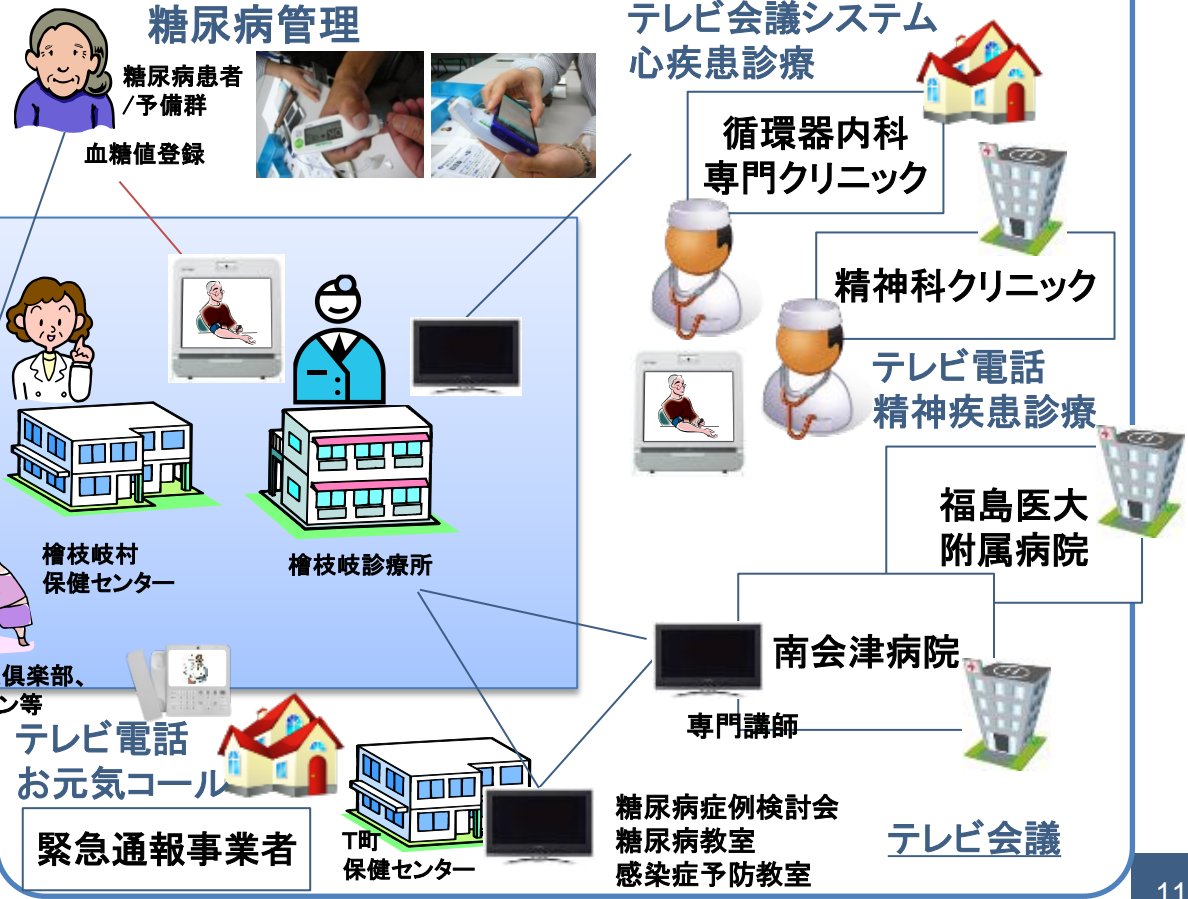
■ 檜枝岐村医療・健康トライアル事業について

檜枝岐村の全世帯に整備した光ネットワークの活用をした健康支援事業として、村およびNTT東日本等は経団連「未来都市モデルプロジェクト」を実施した。プロジェクトの医療・健康実証事業では、住民の健康増進のためのひかり健康相談トライアル、また住民の糖尿病や心疾患の管理を行う遠隔健康管理・遠隔診療トライアル、健康教育や症例検討会のためのテレビ会議トライアルを実施。

ひかり健康相談



遠隔健康管理・遠隔診療トライアル



(3) 福島県檜枝岐村の取組みについて

■ 平成27年度以降の檜枝岐村医療・健康事業について

広域的な地域間共助推進事業参加自治体の医療・健康関連事業の実施状況等も踏まえ、村全体が「家」、道路が「廊下」、各家庭が「部屋」のような村全体で見守り、支え合う村づくりを目指し、**保健・医療・介護の有機的結合**を目指す。

- ◆ 診療所以外のクリニック利用時でも、バイタルデータ提示により診療に活用する。
- ◆ 糖尿病予備軍の方への「ひかり健康相談血糖値管理」により、糖尿病患者を一人も発生させないようにする。
- ◆ IP告知端末を利用した、アンケート回答による「ゆるやかな見守り」とテレビ電話機能の「指定番号自動着信機能」により受話器が取れない状況でも「安否確認」を行う。
- ◆ 保健事業－介護予防施策として高齢者世帯等への「ふれあい訪問」、「運動機能向上」と「認知症予防事業」
介護保険事業－「小規模多機能型居宅介護施設運営」、在宅サービスとしての「訪問介護」
地域支援事業(H29年度) 総合事業(来年度)－要支援1, 2の方への生活支援サービス(社協へ委託)
→ 要支援、要介護者のケアプランを共有して個々のかかわり方を相互にタブレット等で共有できる環境の構築により、保健・医療・介護の全方面から住民をケアし、安心して暮らせる村づくりを目指す。

(4) 今後の取組みについて

■ 取組みの将来像について

- ・自治体の医療系職員どうしによる定期的な情報共有の場を設定する。
- ・現在のバックアップシステムについて機能性をより充実させていく。
(バックアップ内容の選択と拡充、リアルタイムでのバックアップなど)

■ 取組みをどのように継続していくか

- ・本事業で情報交換を行ったそれぞれの健康・医療の取組みについて、より掘り下げて意見交換をするための場を設けていく。
次年度以降で更なるノウハウ共有を図りたい事項
 - ・(香川県)香川県の在宅医療の仕組みづくり
 - ・(香川県)小児糖尿病への取組み
 - ・(檜枝岐村)病診連携の円滑化への取組み
- ・リアルタイムでのバックアップ、標準形式によるバックアップデータの保存などの標準化など相互バックアップの仕組み強化を検討する。システム間の連携をより密にすることで BCPの性能向上につなげる。

■ 来年度以降のスケジュール

- ・K-MIX接続用タブレット端末の在宅医療等へ適用検討／確認(H27年度)
- ・情報共有の場としての協議会継続開催(H27年度～)
- ・リアルタイムバックアップ、SSMIX(厚労省標準規格: Standardized Structured Medical record Information eXchange)及びIHE(医療情報国際標準規格)等標準化対応の検討／確認(H27年度～)